Photoshop のチェックポイント

解像度について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 解像度とは
- 解像度を確認する
- 解像度を設定する

カラーモードについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

- RGB と CMYK
- カラーモードを確認する

レイヤーについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

- レイヤーについて
- レイヤーを統合する

保存について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

- 保存する

Photoshop のチェックポイント

解像度について

●解像度とは

写真などの**画像**は、**小さな点（ピクセルやドット）**の集まりで構成されています。
解像度とはその画像の**きめ細かさ**の事で、dpi（dots per inch）という単位で表します。
これは**1インチあたり**に**いくつの点（ピクセルやドット）**が入るかという事を意味しており、この**数字が大きいほど、きめ細かく美しい画像**となります。

72dpi
Web用解像度

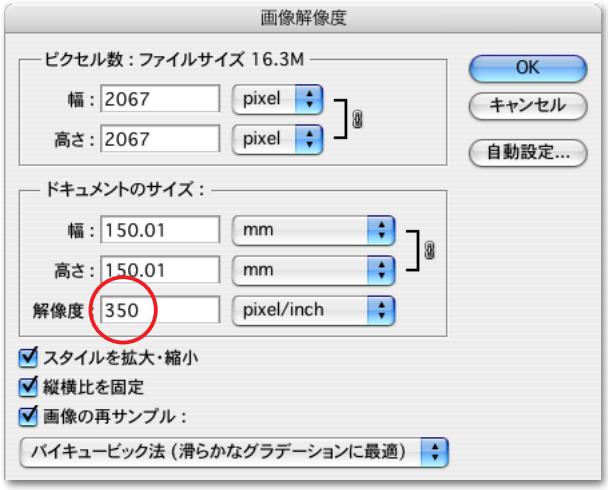
350dpi
印刷用解像度

※写真は解像度を比較する為のイメージです。

Web用の画像は72dpiです。
これはモニタ表示に最適な解像度ですので、インターネット上のキレイな画像を使用しても印刷時には粗くなります。

●解像度を確認する

メニューの「**イメージ**」→「**画像解像度**」を選択すると、画像サイズと解像度が確認できます。



一般的に**印刷物**に**適した解像度**は**原寸サイズ**で300～350dpi程度です。
写真などの画像データを印刷する場合は、印刷サイズに合わせた画像サイズと解像度の設定が必要です。
また、**ロゴマーク等（モノクロ2階調）**の場合は、1200dpi程度必要となります。

印刷に適した高解像度のデータを使用する為には、スキャニングまたはデジカメで撮影する時に、あらかじめ解像度350dpi以上の設定で取り込んで下さい。
解像度を必要以上に高くしても印刷物の画質はあがらず、データ容量が大きくなるだけです。

解像度について

●解像度を設定する

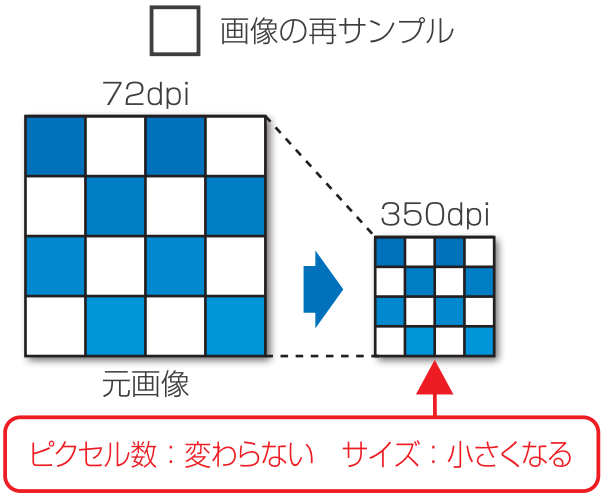
解像度72dpiの画像を印刷に使うと、ガタガタとした**粗い仕上がり**になりますので、印刷に適した解像度を**原寸サイズ**で**350dpi**に設定する必要があります。

チェックを外して下さい。

解像度を350に変更します。同時にサイズが補正されます。

「画像の再サンプル」の**チェックを外した状態**で、 解像度を350dpiに設定して下さい。
画像の**ピクセル数は変わりません**が、画像サイズは解像度を350dpiにした場合の**適したサイズに補正**されますので**小さく**なります。

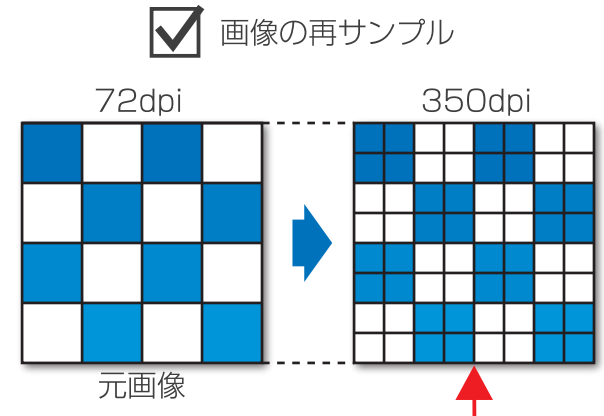
解像度を350dpiに設定すると画像サイズが補正され小さくなりますので、使用画像を元画像のサイズより小さくして使う場合は問題ありませんが、元画像のサイズより大きくして使う場合は、解像度を上げる事ができませんので注意して下さい。



ピクセル数：変わらない　サイズ：小さくなる

また、**「画像の再サンプル」**に**チェックを入れた状態**で解像度を上げると、画像サイズは変わりませんが、**ピクセル数が多く**なります。

この場合、解像度を上げてもデータの容量が重くなるだけで、画像の美しさはそれほど向上しません。



ピクセル数：多くなる　サイズ：変わらない

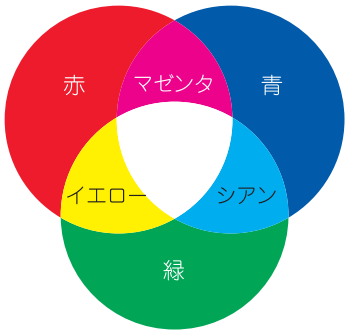
カラーモードについて

●RGB と CMYK

フォトショップには、**「RGBモード」**と**「CMYKモード」**の2つのカラーモードがあり、**RGB**と**CMYK**とでは、それぞれ**発色方式**が異なり**色の領域**も違います。**印刷**には**CMYK4色**の**インキ**を使用しますので、**RGBデータ**の場合は**CMYKデータ**に変換しなければなりません。しかし、**CMYK**は**RGB**に比べ**色の領域が狭い**ため、**RGB**から**CMYK**に変換すると、**CMYK**で**再現できない**色の領域が近い色に置き換えられてしまいます。よって全体の**色目**が**大きく変わってしまい**、特に蛍光色のような色は**くすんだ色**なります。

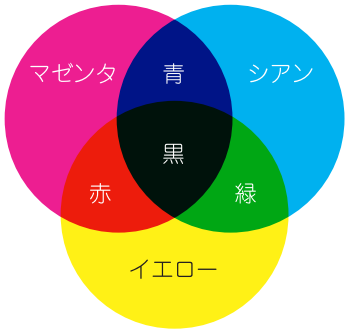
「加法混色」…

RGBは**Red(赤)**·**Green(緑)**·**Blue(青)**による発色方式です。
パソコンのモニターやデジカメの色表現に用いられ、**赤(R)**·**緑(G)**·**青(B)**の3色が掛け合わさることで**白**に近づきます。



「減法混色」…

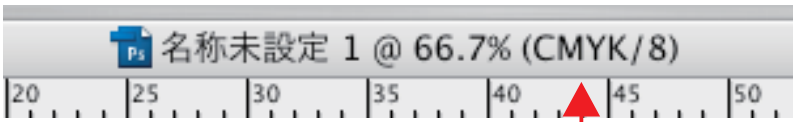
CMYKは**Cyan(シアン)**·**Magenta(マゼンタ)**·**Yellow(イエロー)**による発色方式です。
プリンターなどの色表現に用いられ、シアン(C)·マゼンダ(M)·イエロー(Y)の3色を掛け合わせることで**黒**に近づきます。
プロセスカラー印刷では、**Cyan(シアン)**·**Magenta(マゼンタ)**·**Yellow(イエロー)**·**BlacK(ブラック)**の4色でフルカラーを表現しています。



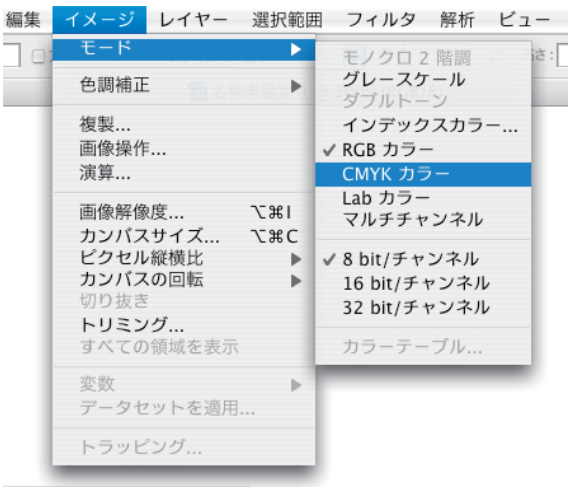
RGBで作成したデータをCMYKで完全に再現することはできませんので、画像データはあらかじめCMYKモードで作成して下さい。

●カラーモードを確認する

メニューの**「イメージ」**→**「モード」**→**「CMYKカラー」**を選択して下さい。
「フィルタ」を使用するためにRGBカラーに変更した場合も最終的にCMYKカラーに変更してください。



現在使用しているカラーモードが表示されています。ここでも確認する事ができます。



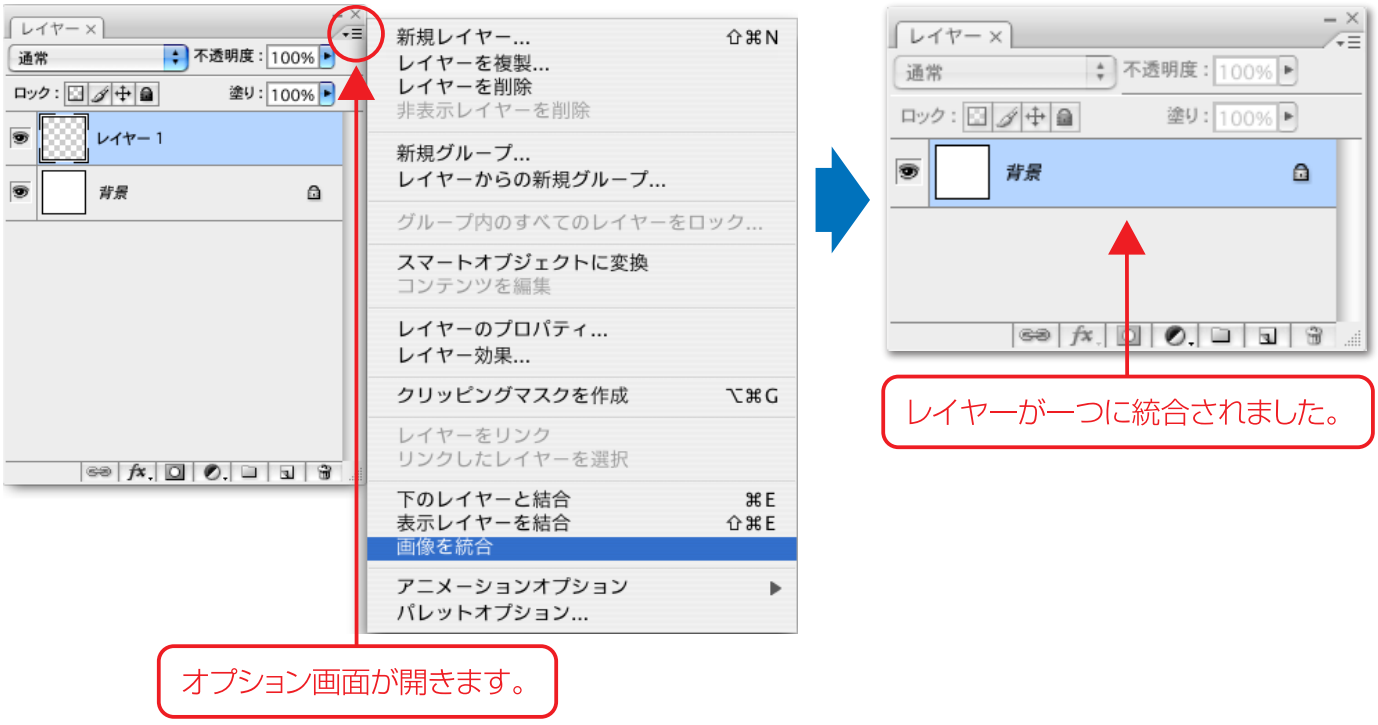
レイヤーについて

●レイヤーについて

必要ないレイヤーは消去し、**レイヤーの統合**をしてください。
レイヤーを統合すると**文字の編集**などができなくなりますので、統合前のデータも**別名保存**しておきましょう。

●レイヤーを統合する

レイヤーウィンドウのオプション画面から**「画像を統合」**を選択して下さい。

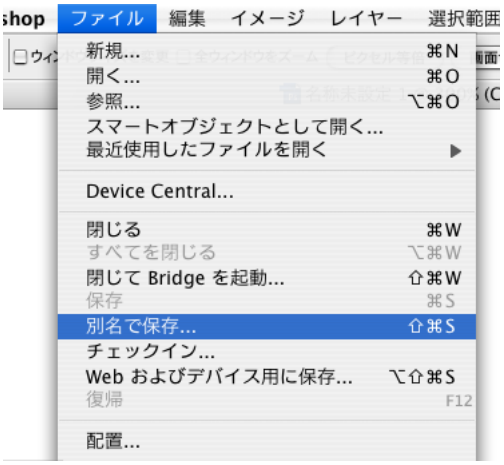


保存について

●保存する

保存には**「上書き保存」**と**「別名保存」**があります。
「別名保存」を選択しますと、**保存形式**が選択できますので、
必ず**「Photoshop」**形式で保存して下さい。
拡張子は**「○○○○○○.psd」**になります。

「上書き保存」されると保存前の状態に戻れませんので注意して下さい。



これを選んで下さい。